

舞鶴発電所向け燃料輸送にLNG燃料船を導入  
～燃料輸送における環境負荷低減を目指して～

2023年6月8日  
関西電力株式会社

当社は、舞鶴発電所（京都府舞鶴市・石炭火力・出力計180万kW）向け燃料輸送において、環境負荷低減が可能なLNGを燃料とする船舶を導入することとし、本日、株式会社商船三井と輸送契約に関する基本協定書を締結しました。

本船は、2026年中の竣工を予定しています。

LNG燃料船は、従来の船舶燃料油を燃料とした輸送船に比べて約25%の二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）削減が見込まれることから、輸送分野での温室効果ガスの総排出量削減\*を通して、社会全体の排出量削減に寄与します。

当社は、引き続き、環境負荷の低減を図りつつ、安定した燃料輸送を実現してまいります。

※国際海事機関（IMO）は、国際海運分野からのGHG（温室効果ガス）排出ゼロ実現に向けたGHG削減戦略を採択。（2018年4月 第72回海洋環境保護委員会）

2030年まで：国際海運全体の燃費効率を40%以上改善（対2008年比）。

2050年まで：国際海運からのGHG総排出量を50%以上削減（対2008年比）。

今世紀中：なるべく早期に国際海運からのGHG排出ゼロを目指す。

以上

【本船概要】



全長/全幅	約235メートル/約38メートル
載貨重量トン数	約94,900トン
竣工予定	2026年7月(予定)
環境性 (従来の船舶燃料油比)	硫黄酸化物 (SO <sub>x</sub> ) : 100%削減 窒素酸化物 (NO <sub>x</sub> ) : 約85%削減 二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> ) : 約25%削減